

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府柏原市、奈良県香芝市及び生駒郡三郷町並びに北葛城郡王寺町

3 地域再生計画の区域

大阪府柏原市、奈良県香芝市及び生駒郡三郷町並びに北葛城郡王寺町の全域

4 地域再生計画の目標

このエリアは、古代から交通の要衝として、中国大陸から文化を平城京へ誘った竜田古道や大和川があり、万葉ロマンが感じられる地である。しかし、近年、大阪（都市部）への利便性が高いことから、王寺駅を中心に宅地開発され、ベットタウン色の強いエリアである。その為、郷土の歴史文化に目を向けることがなく、ベットタウンの特有の問題として郷土愛が育みづらい環境で人口の流動性も高く、住んでいることに誇りのもてる地域づくりが、このエリアの自治体の共通の悩みである。従来から、このような課題を抱えながら、この課題に取り組む気運もなく、連携して事業をすることも無い状況である。各自治体においても、郷土愛を育み、各自治体内の観光素材の魅力に気づくことなく、積極的に観光振興を図ることもない状況である。今回の申請事業で「道を歩く」をテーマに、居住者には、郷土愛を育み、「地域の健康力」の「地域の観光力」・「地域の商工力」の向上を目指して事業に取り組み、エリアプロモーションを通じて情報発信力の強化と連携による観光素材の魅力化を図るものである。エリア内の埋もれた遺産である万葉集に詠われている場所や1400年の歴史空間を一望できる唯一の場所である明神山（王寺町）の眺望、柏原市から三郷町につながる竜田古道を生かしてエリアの魅力化を図るものである。万葉集のテーマ性をいかして、各観光ポイントをつなぐことで、今後、このエリア外の万葉集に関連する自治体との連携も視野にいれながら事業展開を図るものである。

【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末	K P I 増加分 累計
J R ・ 近鉄の利用者数 (定期外) (人)	530	530	531	550	570	2,711
整備エリア内ウォーキ ング人数 (人)	8,000	8,000	8,000	9,000	10,000	43,000
整備エリアの観光ウォ ーキングツアーでの宿 泊者数 (人)	7,200	7,200	7,200	7,500	7,800	36,900

※各年度の数値は増加値

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

このエリアは、古来から万葉の地であり、近年、ベットタウンで栄えてきたエリアである。ベットタウンであることから、郷土愛が醸成しづらく、歴史遺産に目をむけることもなく、ましてや連携して事業に取り組む環境も状況である。このことから、居住者には、郷土の歴史を知っていただき、エリア外の方には、観光客等と呼込める観光資源の魅力化やそれを活用した商工の活性化を目指して事業展開するものである。

竜田古道・明神山、万葉集等をテーマに観光ルートを現地調査

観光ルート整備計画策定費用

観光ルート整備費用

観光ルートプロモーション費用

観光ルートブランド事業

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

1 事業主体

大阪府柏原市、奈良県香芝市及び生駒郡三郷町並びに北葛城郡王寺町

2 事業の名称：万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業

3 事業の内容

エリア内に埋没する観光素材（万葉集、竜田古道、1400年の歴史空間を一望できる眺望）の魅力化を図り、居住者には郷土愛の醸成と「地域の健康力」の向上、地域連携することで観光客を呼びこめる「地域の観光力の向上」・「地域の商工力の向上」を図るものである。また、継続可能な環境づくりとして、ボランティア団体の育成を図ります。障がい者NPO法人、林業家、公共交通機関、商工会、医療機関、観光協会、行政を中心に構成し、多様な志向（万葉集を研究されている方、カメラ撮影、絵画、ウォーキング等）をもとにエリアの検証を各分野の専門家として頂き、PDCAサイクルを繰り返すことでより魅力的なエリアになるよう事業展開を図るものである。

4 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

- ・エリア内の飲食業、宿泊業等と連携し、岩手県立大学で開発された観光アプリを参考に観光客を呼び込み、滞在して頂ける環境づくりを目指すものである。また、このエリアの林道整備を行い、地元林業家と障がい者NPO法人がコラボして森の再生や森のアート化に取り込むものである。このことで、障がい者の雇用創出と間伐材の利活用等も視野に入れ、自然にやさしい生活提案を行うものである。今後の事業展開には、交付金に頼らず、金融機関からの指導や資金提供、民間事業者による連携による事業展開を図るものである。

【官民協働】

NPO法人、観光協会、商工会、医療機関、公共交通機関等が連携し、個々のPRから観光素材の魅力化を図り、滞在時間を延ばすことでエリア周辺への経済効果を促進するものである。またエリア内の飲食店、宿泊地等とも連携し、経済効果を図れる取組みを地銀等の指導頂きながら、エリア内の更なる魅力化と継続性を図る事業財源を生み出す仕組みづくりを構築するものである。

【政策間連携】

このルート整備に向けて、森を再生（林道整備）し、地元林業家や障がい者のNPO法人による森のアート化を目指し、新たな障がい者の雇用の創出を行うものである。また、アクセスの利点をいかして都市部からの流入人口を受入れ、自然の触れ合いの場と協働で森の再生する場づくりを行うものである。また、このエリアには、聖徳太子のゆかりの信貴山朝護孫子寺があり、宿坊や農業公園等の既存施設もある。これらの既存施設を利活用し、観光周遊ルートを整備するこ

とで、居住者には、郷土の歴史を感じながらウォーキングを習慣化し、地域の健康力の向上と交流人口を増やす為に、エリアの魅力化を図る環境整備にも取り組むものである。

【地域間連携】

奈良県王寺駅は、奈良県の西の玄関口であるターミナル駅があり、大阪等からのアクセスも良く、周辺自治体の宿泊地や観光地へ送り込むポンプ的な役割を担い、各自治体のエリア内が賑わう環境づくりに取り組むものである。

【その他の先導性】

都市部からも近い地理的な利点と自然、歴史文化のある地であることから、交流人口の促進と健全者や障がい者の共存、自然と都市との共存できるエリア空間を整備し、新しいライフスタイルを提案するものである。

5 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末	K P I 増加分 累計
J R ・ 近 鉄 の 利 用 者 数 (定 期 外) (人)	530	530	531	550	570	2, 711
整備エリア内ウォーキング人数 (人)	8, 000	8, 000	8, 000	9, 000	10, 000	43, 000
整備エリアの観光ウォーキングツアーでの宿泊者数 (人)	7, 200	7, 200	7, 200	7, 500	7, 800	36, 900

※各年度の数値は増加値

6 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を各自治体に取りまとめて、協議会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表するものである。

7 交付対象事業に要する経費

① 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 65,000千円

8 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成33年3月31日（5カ年度）

9 その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を各自治体に取りまとめて、協議会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成29年 3月末	平成30 年 3月末	平成31 年 3月末	平成32 年 3月末	平成33 年 3月末	KPI増加分 累計
JR・近鉄の利用者数 (定期外) (人)	530	530	531	550	570	2,711
整備エリア内ウォーキング人数 (人)	8,000	8,000	8,000	9,000	10,000	43,000
整備エリアの観光ウォーキングツアーでの宿泊者数 (人)	7,200	7,200	7,200	7,500	7,800	36,900

※各年度の数値は増加値

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

協議会での報告会や議会（委員会）での公表、4市町のホームページでの公表を行う。